

【新】・・・新規事業

北区の新たなブランディング戦略

事業名	予算額
(1) インスタグラムを活用した情報発信 【新】	(1) (2) 合計
(2) ブランディングサポーター制度の創設 【新】	15,200千円
(3) ブランドロゴ・ブランドガイドラインの制作 【新】	(3) 10,000千円
(4) シティブランディング事業助成制度の創設 【新】	(4) 5,110千円

ここがポイント！

- (1) インスタグラムを活用した情報発信
 - 👉 インフルエンサー等を起用し、若年層へ刺さる魅力の発信！
- (2) ブランディングサポーター制度の創設
 - 👉 北区ファンや著名人等がブランディングサポーターとして北区のブランディングに参加できる仕組みの創設！
- (3) ブランドロゴ・ブランドガイドラインの制作
 - 👉 新しいブランドメッセージのロゴやブランドガイドラインを制作！
- (4) シティブランディング事業助成制度の創設
 - 👉 北区ファンの増加、ファンプライド醸成につながるイベント活動等を応援！

事業概要

(1) インスタグラムを活用した情報発信

- ストーリー・写真・リールを駆使して北区の魅力を発信！ジャンルごとにハイライトを作成し、欲しい情報をすぐに得られるツールとして活用する。



(2) ブランディングサポーター制度の創設

- ブランディングサポーター制度を創設し、サポーターとなった方に区の魅力を発信してもらう。

1-1 区民サービスNo.1の行財政改革

(3) ブランドロゴ・ブランドガイドラインの制作

- 新たなブランドメッセージを普及させるため、ブランドロゴ・ブランドガイドラインを制作することで、統一感を持ったブランドイメージを醸成する。

(4) シティブランディング事業助成制度の創設

- 北区のブランディングに資するイベント等の事業を実施する団体、事業者等に助成する。主体的なプレイヤーの発掘、増加にもつなげる。
 - 助成額：上限 100 万円（助成率 2/3）
 - 助成回数の上限は 3 回まで

【担当】

シティブランディング戦略課長

電話 03-3908-1364

【新】・・・新規事業

行政のDX推進

事業名	予算額
(1) 行政手続きの電子申請化【新】	(1) 46,495千円
(2) ココキタ「新」予約システムの導入【新】	(2) 3,663千円
(3) 「区政に届け！オンライントーク」の実施	(3) 994千円
(4) 電子図書館の導入【新】	(4) 4,819千円

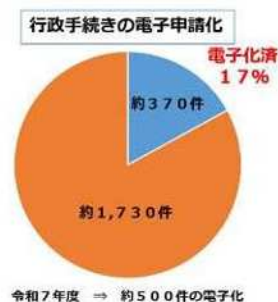
ここがポイント！

- (1) 行政手続きの電子申請化
 - ▶ 北区デジタル推進条例に掲げる、行政手続きの「原則電子申請」を実現（今後3か年度）
- (2) ココキタ「新」予約システムの導入
 - ▶ オンライン化とペーパーレスの徹底
 - ▶ キャッシュレス対応と窓口の混雑解消
- (3) 「区政に届け！オンライントーク」の実施
 - ▶ 北区初！オンライン形式の広聴事業を実施→意見を区政に反映→結果を公表→区民の区政に対する関心を高め、誰一人取り残さない広聴事業を推進
- (4) 電子図書館の導入
 - ▶ 自分のデジタル端末で本が読める（来館不要）
 - ▶ 一部の本でオーディオブック（読み上げ）の機能が使用可能
 - ▶ 学習用端末「きたコン」からも電子図書館が利用可能

事業概要

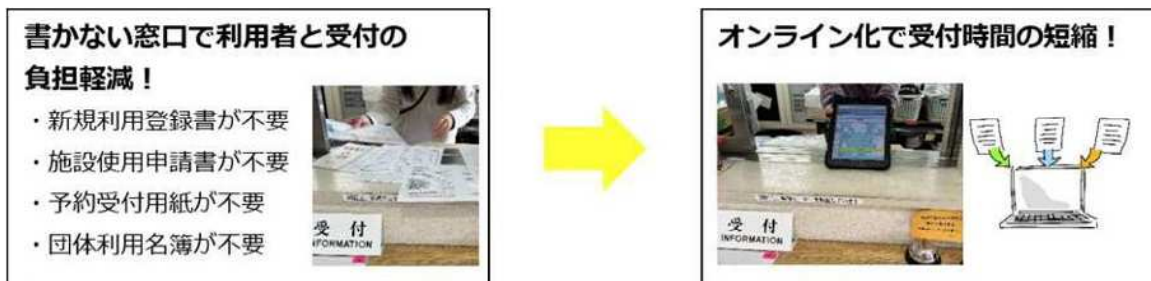
(1) 行政手続きの電子申請化

- 区民が来庁しなくても、パソコンやスマートフォンから行政手続きの申請が可能となるよう、電子申請フォーム作成支援委託を実施し、取組みを加速化する。
- 電子申請の推進により、区民の利便性向上と職員の業務効率化を目指す。



(2) ココキタ「新」予約システムの導入

- 年間約 12,000 件の利用申請をオンライン化し、窓口での記入を不要にする。業務効率により受付事務負担を軽減し、利用者の受付時間の短縮を実現する。



- ネット予約と窓口でのキャッシュレス決済を導入し、1日平均 200 名の来館者の窓口混雑を解消して、ココキタ利用者の利便性とサービスを向上させる。

クレジットカード等で
支払いが可能に



支払い手続きの効率化！
待ち時間を短縮



若い世代のニーズにも応え
満足度を向上



(3) 「区政に届け！オンライントーク」の実施

- 区民ニーズが多様化するなかで、区に届きづらかった声を区政に活かすための新たな取組み。
- 開催回ごとにテーマを示して参加者を公募し、当日は区長と参加者が Zoom を使用して意見交換を行う。



(4) 電子図書館の導入

- 令和8年1月導入予定。導入後は利用状況を踏まえて、貸出の多い分野の図書を充実させる方針。
- 児童書は、同一図書を同時に複数人が利用できる環境とし、より多くの子どもたちが図書に触れる機会をつくる。
- いつでも・どこでも、検索・貸出・閲覧・自動返却が可能となる。
- 電子図書館の特徴を活かしたアクセシビリティの向上（文字サイズ変更など）を図る。



【(1) の担当】

DX 推進担当課長

電話 03-3908-8548

【(2) の担当】

地域振興部副参事

(北区文化振興財団事務局長)

電話 03-5390-1291

【(3) の担当】

区長室長

電話 03-3908-1111

【(4) の担当】

中央図書館長

電話 03-5993-1125

【新】・・・新規事業

職員の働き方改革

事業名	予算額
(1) オンライン学習サービスの導入【新】	(1) 8,257千円
(2) 文章生成 AI (ChatGPT) の全庁導入【新】	(2) 3,256千円
(3) 職員のデザイン思考を推進【新】	(3) 12,287千円

ここがポイント！

- (1) オンライン学習サービスの導入
- 職場における DX 推進の中核を担う職員が、いつでも必要な知識・技能を習得可能な環境を整備
- (2) 文章生成 AI (ChatGPT) の全庁導入
- 文章生成 AI の活用により、職員の業務効率化を一層推進
- (3) 職員のデザイン思考を推進
- デザイン思考を用いた政策形成を推進する取組みは 23 区でも先駆的事例
 - サービスデザイナーによる伴走支援のもとパイロット事業を実施

事業概要

(1) オンライン学習サービスの導入

- 各職場における DX 推進の中核を担う職員が、必要な知識・技能の習得が可能となる学習環境を整備し、デジタル化の普及啓発や業務改善を推進する。
(約 12,000 のオンライン講座を準備)



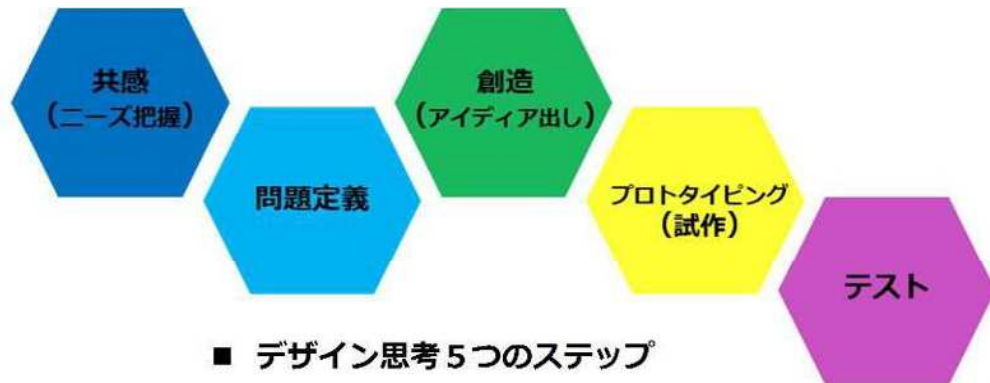
(2) 文章生成 AI (ChatGPT) の全庁導入

- 令和 6 年度実施の試行導入では、約 90% の職員が「業務効率化に繋がる」と回答。「アイデア出し」、「文章生成」、「文章の要約・校正」等への効果を確認。
- 文章生成 AI の全庁導入 (対象: 約 3,000 名) により、職員の業務効率化、質の高い区民サービスの提供を目指す。



(3) 職員のデザイン思考を推進

- 令和7年度は前年度に引き続き、職員研修を実施するとともに、サービスデザイナーによる伴走支援のもと、新たにパイロット事業を実施する。
- さらに、デザイン思考による公民連携、多様な主体との協働を推進していくために、区に縁があるデザイナー等のネットワーク構築に向けて調査・研究を行う。



【(1) (2) の担当】
DX 推進担当課長
電話 03-3908-8548

【(3) の担当】
しごと連携担当課長
電話 03-3908-1226

【新】・・・新規事業

「北区版健康経営」の推進

事業名	予算額
(1) 職員メンタルヘルス相談窓口 (2) 休職者・復職者支援サービス 【新】 (3) 健康管理システムによるデータ一元管理 【新】 (4) ストレスチェックを活用した職場改善 【新】	(1)～(4)の合計 21,352千円

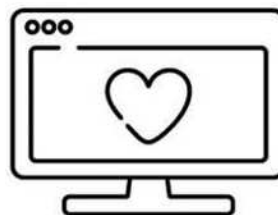
ここがポイント！

- (1) 職員メンタルヘルス相談窓口
- ▶ 気軽に相談しやすい環境を提供することで、メンタルヘルス不調の予防と働きやすい環境の土台を作る
- (2) 休職者・復職者支援サービス
- ▶ 休職中から復職後まで心理職が定期的継続支援を行い、産業医・保健師と連携することで、休職者の適切なタイミングでの復職や再休職予防が期待できる
- (3) 健康管理システムによるデータ一元管理
- ▶ 職員が自身の健康情報を把握しやすくなる。健診結果等を一元管理することで産業医・保健師の連携を高め、高リスク者の把握・対応がスムーズになる
- (4) ストレスチェックを活用した職場改善
- ▶ 分析結果を活用してフィードバック研修を実施することにより、管理職が組織分析結果を把握し、職場環境改善に取り組みやすくなる

事業概要

(1) 職員メンタルヘルス相談窓口

- 職場・家庭・個人におけるメンタルヘルスに関わる相談に心理専門職が幅広く対応する。
- 電話・メール・面談（オンライン面談含む）などの多様な形態による相談を実施する。



(2) 休職者・復職者支援サービス

- 職員のメンタルヘルスケアについて、心理専門職が担当制で行う。
- メンタルヘルス不調による休職者へ、休職早期からプッシュ型の復職支援を実施する。
- 休職者が職場に行けないような体調時でも、自宅付近で出張面談が可能。

(3) 健康管理システムによるデータ一元管理

- システム導入により、現状の紙による管理からデータによる管理へ移行する。
- 産業医相談記録、ストレスチェック、定期健診の結果を一元管理する。

(4) ストレスチェックを活用した職場改善

- マークシート回答方式のみから Web 回答方式（一部マークシート併用）へ移行する。
- ストレスチェックの集団分析結果を活用するフィードバック研修を実施する。

【担当】

職員課長

電話 03-3908-8031